

○ キョウニン（杏仁）

語源

サクラ属 *Prunus* プルーヌス は、ラテン語で「スモモの木」を意味する。学名では、スモモがこの属 *Prunus* の基準種になっているが、和名では日本人により親しみ深いためか「サクラ属」と呼ばれている。種小名 *armeniaca* は、コーカサス地方南部、トルコの東にあるアルメニアにちなむ。

杏仁の杏はアンズの意。アンズという言葉は、元々「杏子」つまり、アンズの実をさしていた。杏と言う字は、木+口で、「口に食べてみておいしい実のなる木」を表している。



photo by Karunakar Rayker CC-BY, from Flickr

基原

Prunus armeniaca Linne ホンアンズ

Prunus armeniaca Linne var. *ansu* Maximowicz アンズ

Prunus sibirica Linne モウコアンズ

バラ科 落葉中高木

薬用部分

種子

種に苦味のある苦杏仁と甘味のある甜杏仁とがある。外形では区別できないが生薬としては苦杏仁を用い、甜杏仁はおもに菓子などの食用にする。杏仁豆腐の杏仁は甜杏仁で、アンニンとは上海地方の発音である。



産地

中国（遼寧、河北、吉林）、日本（長野）

主な成分

青酸配糖体： アミグダリン

ステロイド： エストロン

エストラジオール-17-β-オール

酵素： エムルシン（β-グルコシダーゼ）

主な薬効

鎮咳、去痰、鎮痛、抗炎症

代表的処方

漢方処方用薬であり、鎮咳去痰薬とみなされる処方及びその他の処方に配合されている。

【麻子仁丸】

マシニンガン

体力中等度以下で、ときに便が硬く塊状なもの次の諸症： 便秘、便秘に伴う頭重・のぼせ・湿疹・皮膚炎・ふきでもの（にきび）・食欲不振（食欲減退）・腹部膨満・腸内異常醗酵・痔などの症状の緩和（処方内容） 麻子仁／芍薬／枳実／厚朴／大黄／杏仁／（甘草）

【麻黄湯】

マオウトウ

体力充実して、かぜのひきはじめて、さむけがして発熱、頭痛があり、せきが出て身体のふしぶしが痛く汗が出ていないもの次の諸症： 感冒、アレルギー性鼻炎、気管支炎、鼻づまり（処方内容） 麻黄／桂皮／杏仁／甘草

【清肺湯】

セイハイトウ

体力中等度で、せきが続き、たんが多くて切れにくいもの次の諸症： たんの多く出るせき、気管支炎（処方内容） 黄芩／桔梗／桑白皮／杏仁／山梔子／天門冬／貝母／陳皮／大棗／竹筴／茯苓／当帰／麦門冬／五味子／生姜／甘草

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「和漢薬の事典」「漢方のくすりの事典」「日本薬草全書」「一般用漢方製剤承認基準」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力
福田龍株式会社

（お問い合わせ） 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11
TEL：06-6364-5861 FAX：06-6364-6562
URL：www.fukudaryu.co.jp